

終末主日礼拝  
 説教『一人も滅びないで』  
 山根眞三師  
 司会 根角静香さん  
 奏楽 白石百合子さん  
 招詞 マタイ福音書25章13節  
 主の祈 (564)  
 讃詠 5 4 6  
 交読詩編 詩 1 2 編  
 祈禱 禱  
 讃美歌 21 - 2 3 0  
 使徒信條 (566)  
 聖書 IIペテロの手紙3章3~13節  
 説教 (口語訳374頁、新共同訳439頁)

『一人も滅びないで』  
 祈禱 禱  
 讃美歌 3 2 0  
 献金  
 感謝報告  
 報栄 5 4 3  
 祝 禱  
 後 奏

次週の礼拝(待降節アドヴェント第一主日礼拝)  
 説教『恐れることはないザカリヤよ』  
 ルカによる福音書 1章5節~25節  
 招詞 ローマ人への手紙7:25 / 交読詩篇22編  
 讃美歌 546、94、21-393、544 / ↑ 1~22節

礼拝当番  
 今週 26日 司会 根角さん 献金 吉丸さん  
 次週 3日 司会 市川さん 献金 高橋さん  
 会堂清掃奉仕 12月1日(金)  
 午後4時~ めぐみ幼稚園保育者

本日の集会

★教会学校 午前9時45分  
 ★コーヒータイトム 礼拝後~  
 ●レコードコンサート 午後1時~3時30分  
 ラヴェル ラ・ヴァルス / スペイン狂詩曲  
 道化師の朝の歌 / クープランの墓  
 R.シュトラウス 家庭交響曲 作品53

今週の集会/スケジュール

◎山根師左目白内障手術 11月27日(月)13:00~  
 覚えてお祈り下さい(右目の手術は成功しました)。  
 ✿めぐみ幼稚園親子ヒッポ 11月28日(火)  
 ✿めぐみ幼稚園わくわく実験室 11月30日(木)  
 ✿めぐみ幼稚園礼拝 12月1日(金)10:00~  
 ★信徒会主催待降節交流会 12月2日(土)11:00~  
 14:00 会場: 広島流川教会 会費:1,000円  
 交流・親睦のためぜひご参加下さい。  
 ♫ヒロシマハンドベルリンガーズ演奏奉仕 12月2日  
 (土)13:30~ 社会館虹カフェ

次週以降のスケジュール等

★12月定例教会役員会 12月3日(日)礼拝後~  
 教務・教勢報告、10月分会計報告  
 役員の仕事と健康を覚えてお祈り下さい。  
 §西地区更生保護功労者顕彰伝達式 12月8日(金)  
 15:45~16:45 於:西地区更生保護サポートセンター  
 保護司会名誉会員として出席されます。  
 ♫ヒロシマハンドベルリンガーズクリスマスコンサート  
 12月16日(土)14:00~16:00 会場: 広島西部教会  
 ●レコードコンサート 12月17日(日)13:00~15:30  
 §広島拘置所教誨奉仕 12月20日(水)14:00~16:00  
 §貴船原少女苑キャンドルサービス 12月25日(月)11:00  
 ◎小野紀美子さん 転倒され、仙骨骨折で志村  
 外科に入院されました。覚えてお祈り下さい。

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	1	1
主日礼拝	4	14	18

◇今週の説教要旨(終末主日礼拝)  
 『一人も滅びないで』IIペテロの手紙3:3~13  
 SNSとかユーチューブによって人々に拡散される情報に驚きを禁じえません。それまではあまり話題にはならなかったフェイクニュースが問題となっている。日本国憲法では基本的人権、様々な自由の保障が謳われている。それは無制限の自由ではなく公共の福祉に裏付けられるべきだと大学時代に土井たか子教授から教わった。法律論では徹底して公共の福祉が底辺にあって自由は主張されるべきだと教わった。それは正論だと思うのだが、自由にはそれらを超えてそれ自体の重さがあるようにも思うのだが…。ルターはキリスト者の自由の中で、なにもにも従属しない自由と、すべてのものに従属する自由を語った。私は何にも従属しないが、同時に総てのものに従属するのだと。それは奉仕をする姿を表したものだ。これだけ情報が氾濫している中私たちは総てのものに従属する自由を真剣に求めたいものだ。ペテロが語っている社会状況は私たちの社会状況に酷似している。他者の足元を掬うような情報、その存在を否定するような状況が横行している。使徒の眼から見れば、現代社会もここに記されている状況と同じように映るのではないだろうか。神はどこにいるのか。他者の存在を否定してまで自分達の欲望を実現しようとする状況。どなたが自分達は再臨のキリストだとまで主張している。このような状況の中でこそ、私たちは聖書に示されたキリストの愛を知り、キリストの赦しへの接近と信仰をこそ見つめることが求められる。ペテロは私たちに語る。そこでは信じる者がという表現を用いることなく、一人も滅びることなく、すべての者が悔い改めに至るためだと。これこそがキリストの愛を心から信じる者の信仰なのだ。簡単に表現してしまうが、私の心の中に密かに存在する不信仰がある。悔い改めなくても良い。裁かれれば良いのだ。駄目なのだ。